

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2894700018		
法人名	有限会社 富士建設		
事業所名	グループホーム ありがとう		
所在地	兵庫県美方郡新温泉町七釜329-1		
自己評価作成日	平成29年12月4日	評価結果市町村受理日	平成30年3月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.wam.go.com
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人CSウオッチ
所在地	兵庫県明石市朝霧山手町3番3号
訪問調査日	平成30年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、自然豊かな山、川、海、に囲まれております。又施設の風呂は地元の自慢である七釜温泉を引かせて頂いて、利用者様には体に良い温泉入浴を日々楽しんで頂いております。スタッフも開設当時より勤めて下さっている方々が多数いて利用者様とは顔なじみの関係を築いて下さり利用者様にとってより良い方向を常に検討しケアにつなげて下さっています。当施設のアピールポイントは良いスタッフが揃っている事です。施設はスタッフで決まるといった観点から、スタッフ同士がお互いを高めあって良いところを評価し合う事で各々がケアに自信を持って取り組んでおります。利用者様の各々の希望や出来る事出来ない事をしっかり見極め出来る限り希望に沿わせて頂き、出来る事は意欲を持ってして頂き、時にはいざこざもありますが、ワイワイ、がやがや云いながら日々を過ごして頂いております

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【優れている点】・自然豊かな山、川、海、に囲まれた新温泉町の七釜温泉区域に立地の保養地環境であり、施設の風呂は地元の温泉を引き、利用者は日々温泉入浴を楽しんでいる。・スタッフも開設当時より勤務の人達が多く、利用者との顔なじみの関係を大事にし、より良いケアを目指し互いに切磋琢磨し、顧客満足度向上に向け、前向きに取り組んでいる。
【工夫点】・事業所立地特性を活かし、食事・入浴・排せつなど利用者毎の状況を把握、工夫して心のこもった支援を実践しています。・開設より、毎日朝礼後、理念にもとづき経営者による行動指針として策定の「気は長く、心は丸く、腹たえず、人は大きく、己は小さく、思いやりと真心で、今日も一日笑顔で元気に頑張りましょう」の誦句を唱和し、眼に着く場所に掲示し、全職員が実践に向け取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の朝礼の後、理念に沿った心構えで1日ケアにあたって頂くようにスタッフ、利用者様と理念を唱和させて頂いて仕事に取り掛かっています。	理念にもとづく経営者作成の支援の心構えを朝礼後唱和・共有し、日々の実践につなげている。理念、心がまえはリビングフロア一壁に掲示し、全職員がいつでも目につくよう配慮している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的ではないが地域の方々との交流に努めています。	地区自治会会員として近くの公民館で行われるどんど焼きや数珠練りなど複数の利用者に参加し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流し、七釜温泉の地域掲示にも事業所所在を明示している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所内では取り組んでおりますが、地域に向けての取り組みは出来ていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では報告事項の後色々な立場での意見をいただいで現場に活かしています。	包括支援センター、地区長、民生委員など参画のもと現況報告、安心・安全に関する話し合いや情報入手など意見をいただきサービス向上に活かしている。	的確な意見をいただき真摯に対応していますが会議録に参加者明記や時にはご家族参画の工夫が望まれます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連絡は密には取れてませんが、必要に応じて相談報告はさせて頂いております。	運営推進会議に包括支援センターの方が参画され連携は取れていますが町担当には必要時の相談報告に留まっている。	当事業所サービス支援における成功事例など積極的に提供し、協力関係をより一層築く取組が期待されます。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	危険防止の為玄関の施錠はさせて頂き家族様にも理解をして頂いています。身体拘束に関しては一切しないケアに努めております。	事業所周囲は、流れの速い小川が数か所あり、危険防止で玄関錠は日中施錠している。身体拘束に関し一切しない前提で日常ケアに取り組んでいる。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内において虐待というような事が無いように、注意を払い防止に努めています。	TVでの当該番組を参考に職員会議で虐待防止に関し話しあい、防止に努めている。	計画的に当該外部研修に参加し、現況情報など入手し、現状サービス支援の中で抵触事例の有無など職員会議で話し合う工夫が期待される。

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の利用者さんの必要に応じ関係者様に情報を提供させて頂いております。	現在成年後見利用者はいない。管理者は町より当該DVDの借用やパンフレットを入手し、職員会議などで話し合い、必要に応じ関係者に情報提供している。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時にはゆっくり説明をさせていただきます。またその後も分からない事等を遠慮なく聴いて頂くようにお伝えしています。	契約などに関しては、外出や看取りなどの関心事に対し、できること、できないことを判り易く一緒に話し合い、理解・納得を図っている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・要望等を遠慮なく伝えて頂く方法として玄関に意見箱を設置して書いて入れて頂くようお願いをしています。	玄関に意見・要望など把握する目的で開設時より意見箱を設置している。但し、現在まで活用なし。	ご家族からの電話問合せなど受けた職員が代行して意見箱に投入し、日々管理者が確認し、職員間で伝達漏れがないような活用工夫が望まれる。
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を定期的(2か月に1回)又は必要に応じ開き職員の意見、提案を聴く機会を設け環境の整備に努めております。	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く職員会議や日々活動で「ありがとう」カードの活用や社長表彰などの仕組みを設け、環境の整備などに反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員向けのアンケートや個人面談等をもうけ個々の思いを聞き取り職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップのために必要に応じた研修に参加してもらって仕事に活かしてもらってます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部慣習の中で同業者さんとの交流を深めて情報交換をして頂き仕事の向上に努めて頂いております。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15			○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時の聞き取り要望をサービス計画に反映し状況の変化があればその都度検証し計画を変更しています。		
16			○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時の聞き取りの中で聞かせて頂きますが、その後も電話、又は来初頂き伺うように努めております。		
17			○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス計画を作成する段階で電話等により聞き取りし、その時に必要なサービスを計画にあげさせて頂いております。		
18			○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念にもあがっておりますが、共に生活する人というような信頼関係を持ちながらケアにあたっております。		
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	全ての家族様ではないですが関係を築けるように努めております。		
20	(11)		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が馴染みの人との関係を維持出来る様に努めております。	事業所を利用しても、今までの地域や地域住民との関係継続のために本人を支えながらのアプローチを心がけている。「帰りたい。」本人の想いから以前の家立ち寄り、馴染みの知人・友人との交流を図るなど一人ひとりの生活習慣を尊重している。	
21			○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性もありますが、話が合いそうな人、顔見知りかも知れない方同士の交流に努めております。		

自己 者 第三	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されてからも折に触れてお会いすることがあれば本人様の様子を窺ったり、面会に行かせて頂いたりしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	(12) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	施設として出来る範囲内で希望、意向に沿えるように努めております。	日々のかかわりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情などから真意を推し測ったり、本人にとってどのように暮らすのが最良なのか職員で話し合いながら言葉にしづらい思いや行動を理解しようと努めている。	
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅生活の時の事や前施設での様子をしっかりリサーチさせて頂き現生活に活かしております。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の利用者様の状態に応じた過ごし方をして頂くように努めております。		
26	(13) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様がよりよく生活して頂くために出来る限りの要望にお応えするように努めております。	本人や家族には、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。設定した期間での見直しと個々の短期目標に添うサービス利用状況のチェックをおこなっている。課題とケアのあり方を職員全員で意見交換しカンファレンスを行っている。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の様子もしっかり記録し、注意事項、変わったことがあれば、申し送りノートに記載しスタッフ一同が勤務前に目を通し把握に努めております。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の要望、希望は十人十色ですので100%は出来ないにしても出来る限り柔軟な支援を心がけるように努めております。		

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を確認し時間間隔による誘導、もしくは行動の変化(徘徊)をみて誘導をさせて頂いております。	トイレでの排泄を可能にするために、排泄チェック表を使用し、一人ひとりのサインを職員が把握しトイレでの排泄を大切にしている。退院後の尿意・便意の改善にむけトイレ誘導の支援を促し、スムーズな排泄支援ができるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘ぎみの方は朝いちばんの冷たい牛乳を飲んで頂いてそれでも排便が無いようなら下剤を飲んで排便を促してます。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本一日置きの入浴をさせて頂いて余裕があれば、希望に応じた対応を心がけております。	職員が一方向的に決めず、利用者のその日の希望を確認し入っていただく。今までの習慣に合わせ18時に入る方など職員ローテーションを工夫し対応している。お湯は温泉を使用しくつろいだ気分で入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日、その時々に応じた対応をなるべく心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者さんの服用薬をユニットごとの一覧表をもうけユニットのスタッフが常に見て把握出来る様に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ひとりひとりの嗜好、趣味などをお聞きし出来る事は希望に応じてして頂くようにしております。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ひとりひとりの希望に沿った行きたい場所(時には自宅)に可能な限りお連れさせて頂いております。	本人の状態や希望に応じて、海鮮祭り、近隣の海岸や滝見学など季節や地域のその時の状況に応じて、一人ひとりが楽しめる支援に取り組んでいる。日曜日はドライブに出かけるなど本人に合わせた移動の配慮をしながら外出を支援している。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50			○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な場合、お金が手元になれば、落ち着かない等の場合を除き所持金は持ち込まないように入居時お願いしています*利用者さん同士の貸し借りによるトラブルが絶えないので		
51			○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に対するお手紙、電話などを利用者さまに積極的に頂くように促しております。		
52	(23)		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間ではみなさんが気持ちよくすごして頂くように常に清潔にし、心地よく過ごして頂く様に心がけております。	フローアはお年寄りにとって使いやすい家具やソファが配置されている。個々の利用者にとって居心地の良い場所、安心感ある場所になるように工夫されている。空気の流れ光など配慮しストレスにならないよう生活感、季節感を採り入れている。	
53			○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	とても狭い施設なのですが、その上で1人になりたい時に過ごして頂く空間をもうけさせて頂いております。		
54	(24)		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物、馴染みの物をお持ち頂くようお願いしていますが、家族さんの判断で新たに購入されて持って来られる方、必要最低限の物しか持って来られない方さまざまですが、施設はあえて強要はしていません。	家具やタンスなど思い出の品々を持ち込まれたり、それぞれの利用者の居心地のよさに配慮している。持ち物が少ない、協力が得られない場合でも本人の意向を尊重しその人らしく落ち着いて過ごせるよう取り組んでいる。	
55			○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとりひとりの残存機能を出来る限りリハビリ等で維持して、自分でできる喜びを感じて頂きながら生活を送って頂いております。		